

大正12年から昭和30年頃までの図書館業務資料「一橋・駿河台図書館業務資料」を一部展示
業務資料から見る千代田図書館の歴史展

関東大震災前後の東京市立図書館

千代田図書館の前身となる東京市立一橋図書館（大正2年～昭和4年）と東京市立駿河台図書館（昭和5年～昭和30年・昭和25年に区立となる）は、当時、東京市立日比谷図書館を筆頭に、日本の公共図書館をリードしてきた図書館のひとつでした。

このたび当館では、一橋図書館時代および駿河台図書館時代に当時の図書館員が残した業務資料135点を「一橋・駿河台図書館業務資料」として整理し、その一部を展示として皆さまにご覧いただく機会を設けました。

「一橋・駿河台図書館業務資料」は、これまで日本の図書館史研究や出版文化史研究のなかでも不明瞭だった東京市立図書館の運営の実態などが詳しく見えてくる貴重な資料です。

今年は東日本大震災から5年目という節目でもあることから、展示内容を「一橋図書館と震災」、「駿河台に完成した復興図書館」というテーマで構成し、業務資料の一部を原物やパネルでお見せします。また、展示にあわせてホームページには「一橋・駿河台図書館業務資料」のページを設けましたので、ぜひご覧ください。

「一橋・駿河台図書館業務資料」とは

当館の前身である東京市立一橋図書館・駿河台図書館時代の業務資料135点を「一橋・駿河台図書館業務資料」と呼び、整理・保存しています。日直・宿直日誌、予算差引簿、閲覧料日計簿、図書購入関係綴など、大正12年から昭和30年頃までに作成されたこれらの資料からは、当時の図書館広報誌「市立図書館と其事業」や東京市の公文書だけではわからない事業進捗状況や運営の実態を知ることができ、図書館史研究の精度向上の面でも重要な資料です。

千代田区立図書館ホームページ「一橋・駿河台図書館業務資料」

<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/findbook/gyomushiryo/>

展示『業務資料から見る千代田図書館の歴史展 関東大震災前後の東京市立図書館』

明治20年、千代田図書館の前身である大日本教育会附属書籍館が、現在の千代田区一ツ橋に開館しました。

その後、現在の千代田図書館となるまでの約130年の間には、東京市、千代田区への運営母体の変化や、幾度かの館名変更がありました。いつの時代も子どもから大人まで多くの人々に利用されてきました。

この展示では、千代田図書館に残る大正から昭和初期の業務日誌や写真などを通して、東京市立だった頃の千代田図書館について前期・後期にわけて紹介します。当時の業務資料や記録からは、皆さんの利用している公共図書館とは異なる図書館の姿が見えてきます。公共図書館の歴史の一場面をご覧ください。



【前期：2015年10月26日～12月15日】一橋図書館と震災

震災前後の東京市立一橋図書館に焦点を当てます。公共図書館の創成期に東京市立図書館の中心的な役割を担った一橋図書館は、大正12年に関東大震災で焼失しました。被災時の様子や、復興への道のりを紹介します。

【後期：12月16日～2016年1月23日】駿河台に完成した復興図書館

昭和5年に開館した東京市立駿河台図書館に焦点を当てます。震災の教訓を踏まえて完成した時代の先端をゆく建物や図面から、当時どのように図書館が利用されていたのかを具体的に読み取ります。

業務資料展示数：前期後期あわせて 約30点

関連図書展示数：前期後期あわせて 約133点（一部貸出不可）

会期	2015年10月26日(月)～2016年1月23日(土) 前期：2015年10月26日～12月15日 後期：12月16日～2016年1月23日
場所	千代田図書館9階＝展示ウォール
主催	千代田区立千代田図書館
協力	奥泉和久氏、小黑浩司氏、小林昌樹氏、鈴木宏宗氏、西村彩枝子氏、吉田昭子氏（一橋・駿河台図書館業務資料研究会）

■関連イベント

展示「業務資料から見る千代田図書館の歴史展」関連講演会

第一部「一橋・駿河台図書館をつくった図書館員」

第二部「東京市立図書館を利用するには」

今回の企画展示は、「一橋・駿河台図書館業務資料」を使って調査を行う研究者グループ（一橋・駿河台図書館業務資料研究会）に展示パネル制作のご協力いただきました。そのメンバーである奥泉和久氏より一橋・駿河台図書館を中心とした東京市立図書館史の概略や注目すべき図書館員について、小林昌樹氏より当時の公共図書館の利用方法などについてのほか、展示パネルに書ききれなかったことをお話しいたします。

日時	2016年1月22日(金)午後7時～8時30分（午後6時30分開場）
場所	千代田図書館9階＝特設イベントスペース
定員	50名／事前不要、先着順、立見可
参加費	無料
講師	奥泉和久氏（横浜女子大学図書館） 小林昌樹氏（国立国会図書館）

本件お問合せ先：千代田図書館 広報担当：坂巻 TEL 03-5211-4288

お客様お問合せ先：TEL 03-5211-4289-90／千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10階

千代田区立図書館ホームページ <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>